

「ココロ合せ♡チカラ合せ」 防災ネットしょうなん

BOSAI Never Ending Tension~終わりなき緊張感



ヒマワリはまちのシンボルです

2026(令和8)年3月10日/第115号

自然災害に強いまちづくりをめざしましょう!

風早北部地域ふるさと協議会

昨年12月の北海道・東北北部震災に学ぶこと

12月8日深夜の地震は、青森県八戸市等で最大震度6強を記録し、**市内各地で窓ガラスや建物壁の落下散乱が報告**されました。発生が夜であったことで、その人的被害は最小限でしたが、発生時間によっては、大きな二次被害に繋がるものでした。



一方、**発災直後の不十分な対応によるケガ人の発生**は、周辺健常者による災害対応にも足かせとなります。

行政等の公助も、救急対応者が急増しますので、大規模災害発生時に大きなケガをしない取り組みは、何より大事であることを改めて痛感しました。

上水道管損壊での断水、下水管損では水洗トイレが使えない被害も、被災地のあちらこちらで発生、被災住民は明らかに簡易トイレの事前準備を怠っている模様でした。…「公衆トイレに長蛇の列」はかなり困ってしまいます。

今回の被災地は限定的でしたが、これが仮に首都圏一帯、あるいは南海トラフでは日本列島を横断しての広範囲の被災となり、**物資の運送・供給がほぼ寸断**されます。数か月間、**モノ不足**を柏市民は覚悟しなければならないことも想定されます。行政等の公助に全てを頼る姿勢は、今すぐ脱却しましょう。

自分たちで何とかすること、それは日ごろからの地域防災活動で実現できます。防災活動を何もしていない地域は、是非危機感を感じてください。そして、いまからでも決して遅くないので、まちの防災

に向け一人ひとりが立ち上がりましょう。

これまで「防災訓練などの地域での活動」がほとんど何もできていない町会住民の皆さんは、是非私ども風早北部地域ふるさと協議会防犯防災部(☎04-7157-3488、下記メールも可)にご一報、ご相談ください。大災害が起きて後悔が残らないように!



防犯防災部メール: boux2@kazakita.org

防災ネットしょうなん 第115号

新たな防災気象情報の運用が公開 ～12月16日付気象庁報道より～

気象庁は令和6年に取りまとめられた「防災気象情報に関する検討会」での提言を踏まえ、今般、来年の大雨の時期から運用する新たな防災気象情報の名称や情報体系が決まりました。



新たな防災気象情報は、情報名称に警戒レベル数字を付記し、各地自体が発令する避難指示等の情報や住民行動との関係が今までよりわかりやすくなります(あくまでも気象庁の見解ですが…)。その運用開始は今年の5月下旬を目指しています。下図参照。

令和8年5月下旬(予定)より 気象の警報などが大きく変わります

	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル 1	早期注意情報			



警報・注意報の情報名に「レベル」が付記されます



河川の氾濫の危険度の伝え方が変わります(特別警報の新設など)



「警戒レベル4相当」の情報は「危険警報」として発表されます